

広島市植物公園 見どころ案内

2023年5月27日
通巻第584号

今週の
見どころ案内
掲載植物
現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (4/15~6/7)
特別企画展「牧野富太郎と広島」
- ◇展示温室
ハーブ展 (5/16~5/28)
セントポーリアとイワタバコの仲間展 (5/31~6/11)
- ◇屋外展示場 (5/27~7/2)
アジサイ展

ハナショウブ (アヤメ科)

花が咲きはじめています。ハナショウブ園には約120品種を植えており、中には江戸時代から伝わる珍しい品種(菖翁花)もあります。

バラ (バラ科)

ローズフェスティバルもいよいよ終盤(~5/31)。バラの芳醇な香りをぜひお楽しみください。開園直後は、バラがよく香っているのでおすすめです。

ムシャリンドウ (シソ科)

中部以北の明るい草地に生育。和名は滋賀県武佐(むさ)町に因むという説があるが、西日本には自生がありません。

ヒスイカズラ (マメ科)

フィリピン原産。勾玉のようなヒスイ色の花を咲かせることが名前の由来になっています。

★大温室で見頃の花 ラッセリア、ベニヒモノキ、ナンヨウザクラ、クリナム、コチョウラン、カトレヤ、オオミノトケイソウ、カエンボク [カカオ、タマゴノキ、ジャボチカバ、バナナ、黄金ココヤシ、ココヤシ、ソーセージノキ、コーヒー (以上は果実)]

オルラヤ (セリ科)

ヨーロッパ原産。ホワイトレースとも呼ばれます(園芸名)。ログガーデンやバラ園では、バラとの混植にも用いています。

ブラシノキ (フトモモ科)

オーストラリア原産。花はコップを洗うブラシのような形をしています(赤色で長く伸びている部分はおしべ)。

ナツグミ

クララ (マメ科)

クジン(苦参)と呼ばれる生薬の原料植物。根を口に含むと目が眩むほど苦いことから「眩草(くららぐさ)」と呼ばれます。

ナツボダイジュ

ヤマボウシ (ミズキ科)

新緑の中で白い花が目につきます、と言いたい所ですが、花びらのように見えるのは、実は葉が色づいたもの。本当は小さな花が、真ん中に丸く集まって咲いています。

タイサンボク (モクレン科)

北アメリカ原産。高さが20m程度まで生長する高木で、大きな葉も特徴。枝先に20cmにもなる香りのある白い花を咲かせます。



❀ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❀
❀ 6/3, 6/27, 7/2 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❀